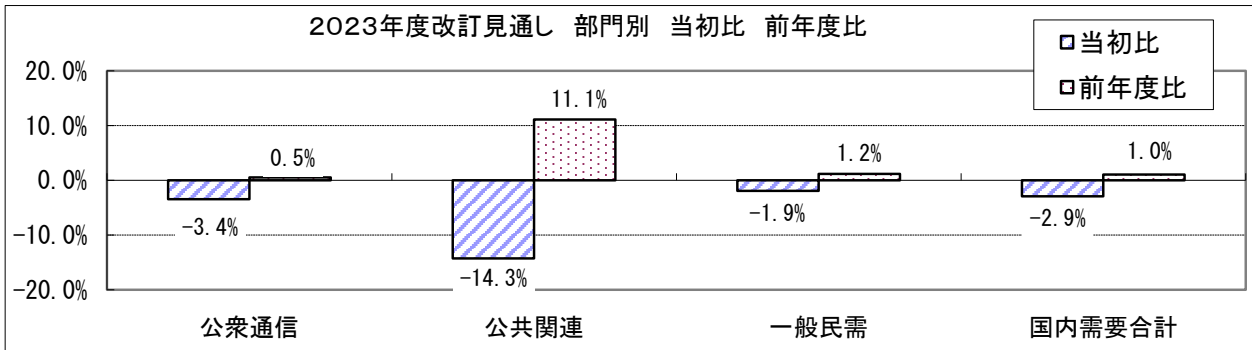
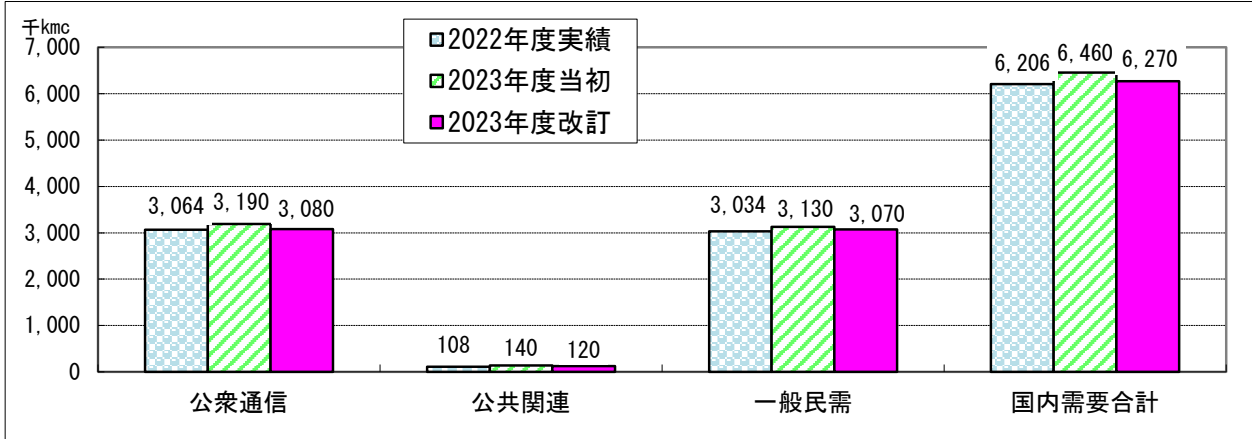


国内光ケーブル需要見通し概要

2023年9月
調査統計専門委員会

1. 2023年度改訂見通し

(1) 予測結果



単位:千kmc

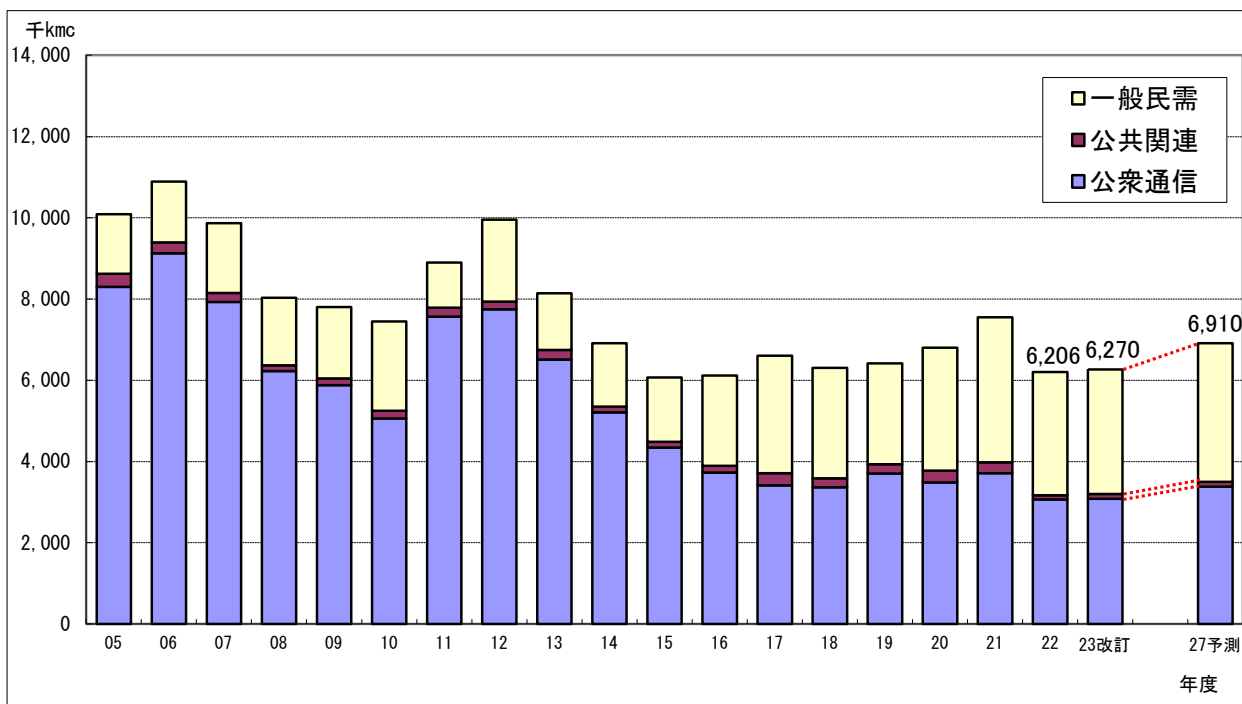
	2022年度実績	2023年度当初	2023年度改訂	当初比	前年度比
公衆通信	3,064	3,190	3,080	-3.4%	0.5%
公共関連	108	140	120	-14.3%	11.1%
一般民需	3,034	3,130	3,070	-1.9%	1.2%
国内需要合計	6,206	6,460	6,270	-2.9%	1.0%

(2) コメント

部門	コメント
公衆通信	在宅勤務需要、5G関連投資は維持するものの、既存分野の投資は飽和感があり期待薄く、当初比減、2022年度比は+0.5%と予測。
公共関連	インバウンド回復による設備投資需要が当初程は期待できず、当初比減、2022年度比では+11.1%と予測。
一般民需	CATVはじめ全般的に低迷傾向が想定され、当初比減、2022年度比では+1.2%と予測。
国内需要合計	公共関連部門は2022年度比増と予測するも、公衆通信、一般民需部門では大きな伸びは見込めず、国内需要合計で当初比減、2022年度比+1.0%と予測。

2. 2027年度中期見通し

(1) 予測結果



単位：千kmc

	2022年度実績	2027年度予測	22～27年 平均伸び率	23改訂～27年 平均伸び率
公衆通信	3,064	3,380	2.0%	2.4%
公共関連	108	120	2.1%	0.0%
一般民需	3,034	3,410	2.4%	2.7%
国内需要合計	6,206	6,910	2.2%	2.5%

(2) コメント

部 門	コ メ ン ト
公衆通信	AI、IoT関連需要による通信線路設備は堅調に推移、また6G等次世代網整備需要にも期待し、2022年度比増と予測。
公共関連	設備投資需要が徐々に回復することが見込まれ、2022年度比増と予測。
一般民需	DX化やIoT、データセンター関連需要は引き続きあるとみて、2022年度比増と予測。
国内需要合計	公衆通信、公共関連、一般民需部門ともに緩やかながら増加を見込み、国内需要合計は2022年度比増と予測。

以上

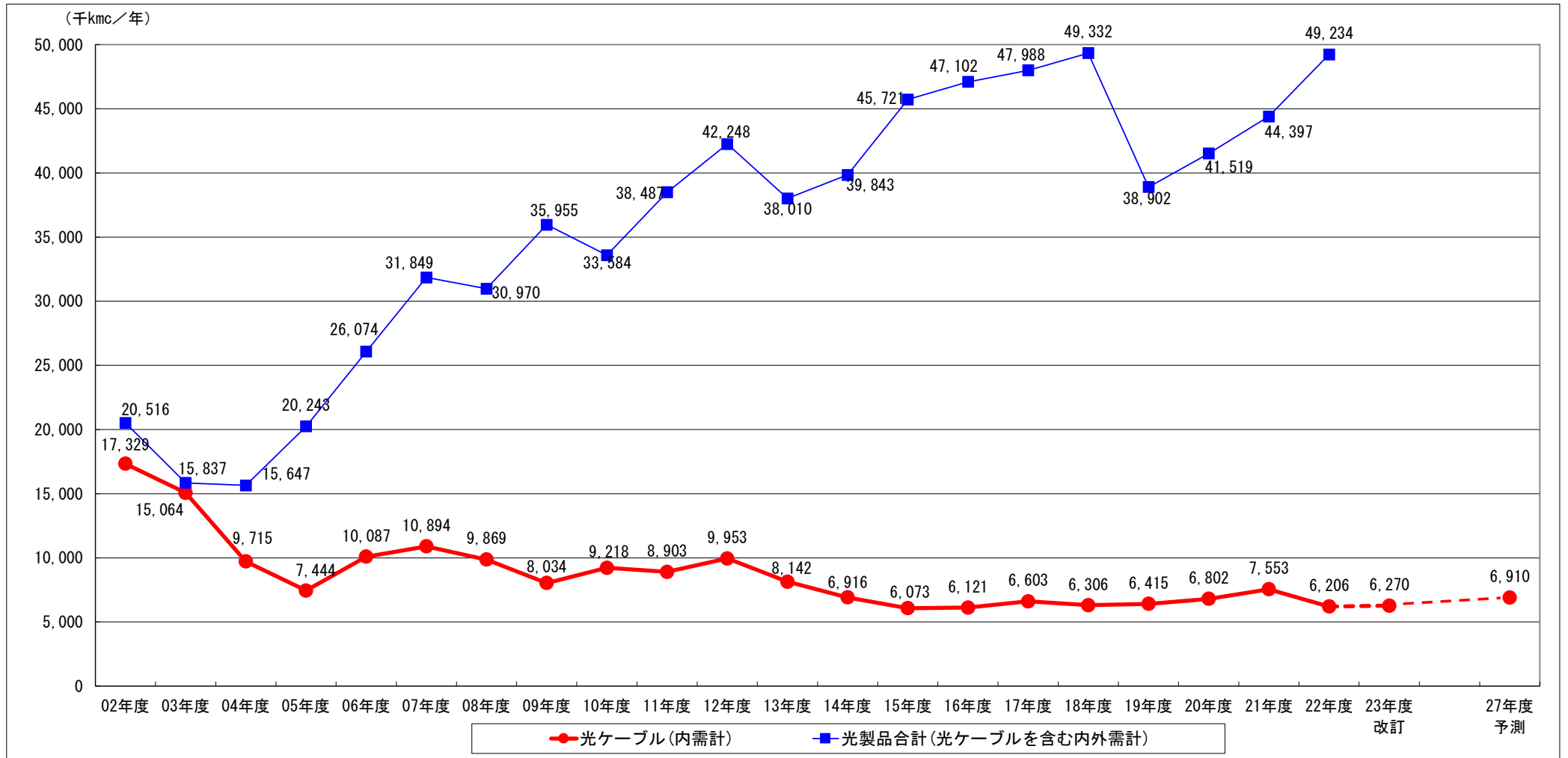
国内光ケーブル需要見通し

2023年9月

単位：千kmc/年度

年度 部門	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	22/21 伸び率	2023年度 当初見通し	2023年度 改訂見通し	当初比	23改訂/22 伸び率	2027年度 予測	27予測/22 年平均伸び率	27予測/23改訂 年平均伸び率
公衆通信	4,346	3,728	3,418	3,369	3,707	3,483	3,717	3,064	▲ 17.6%	3,190	3,080	▲ 3.4%	0.5%	3,380	2.0%	2.4%
公共関連	138	167	295	219	229	296	263	108	▲ 58.9%	140	120	▲ 14.3%	11.1%	120	2.1%	0.0%
一般民需	1,589	2,226	2,890	2,718	2,478	3,024	3,573	3,034	▲ 15.1%	3,130	3,070	▲ 1.9%	1.2%	3,410	2.4%	2.7%
合計	6,073	6,121	6,603	6,306	6,415	6,802	7,553	6,206	▲ 17.8%	6,460	6,270	▲ 2.9%	1.0%	6,910	2.2%	2.5%

注) 四捨五入のため計が合わない場合がある。



注: 光製品合計の23年度改訂、27年度予測は作成していない。